

物流部門責任者様向け

情報システム担当者様向け

WMS導入検討企業様必見！

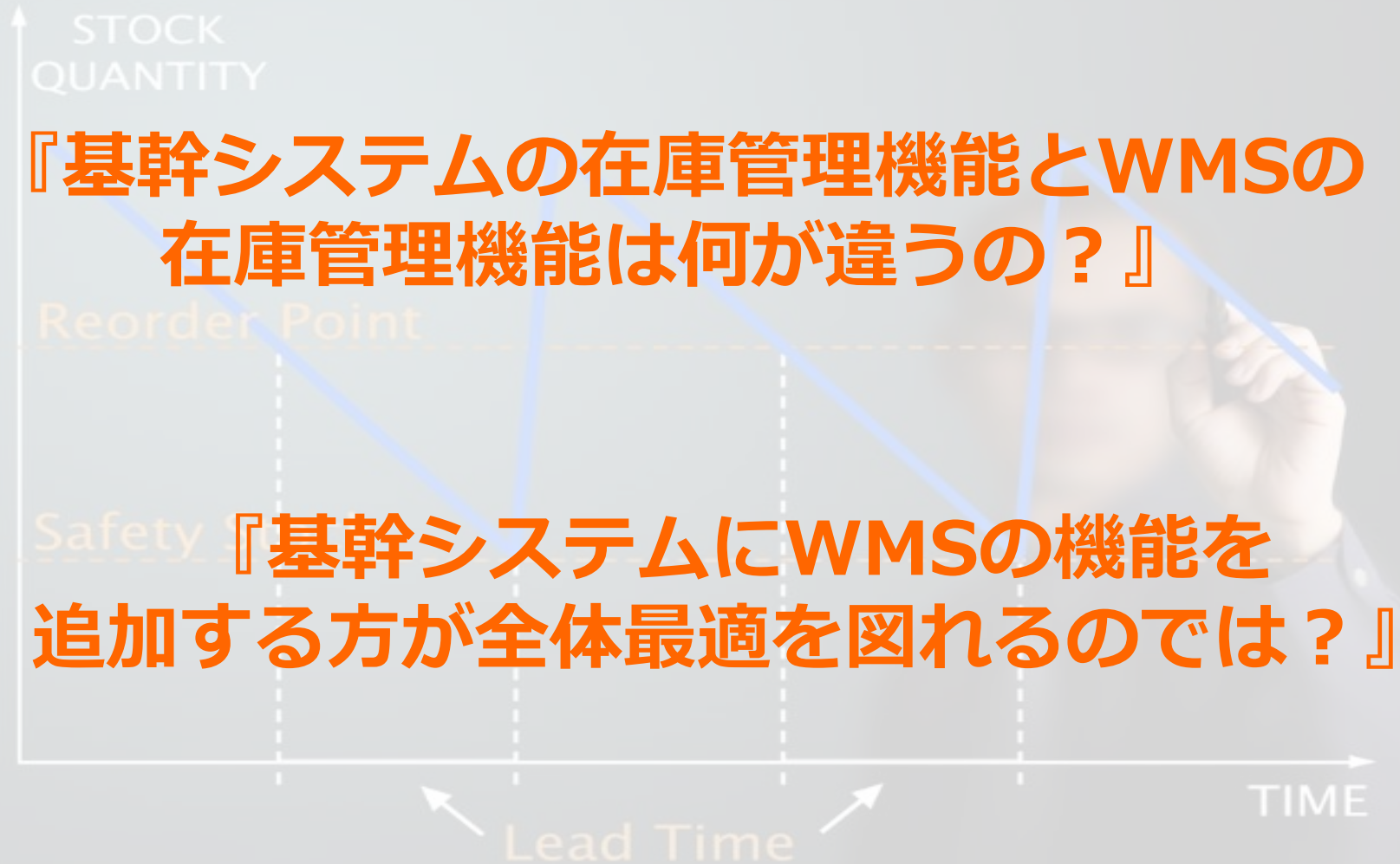
基幹システムとWMSを切り離す理由



- 本資料は、貴社内閲覧用としてご利用いただくことが可能です。
- 本資料は貴社外で開示すること、無断転記、複製することを禁じます。

2016/01/03 Ver. 1.0

WMS導入時によくある2つの質問



一つ目
の質問

『**基幹システムの在庫管理機能とWMSの
在庫管理機能は何が違うの？**』

Reorder Point

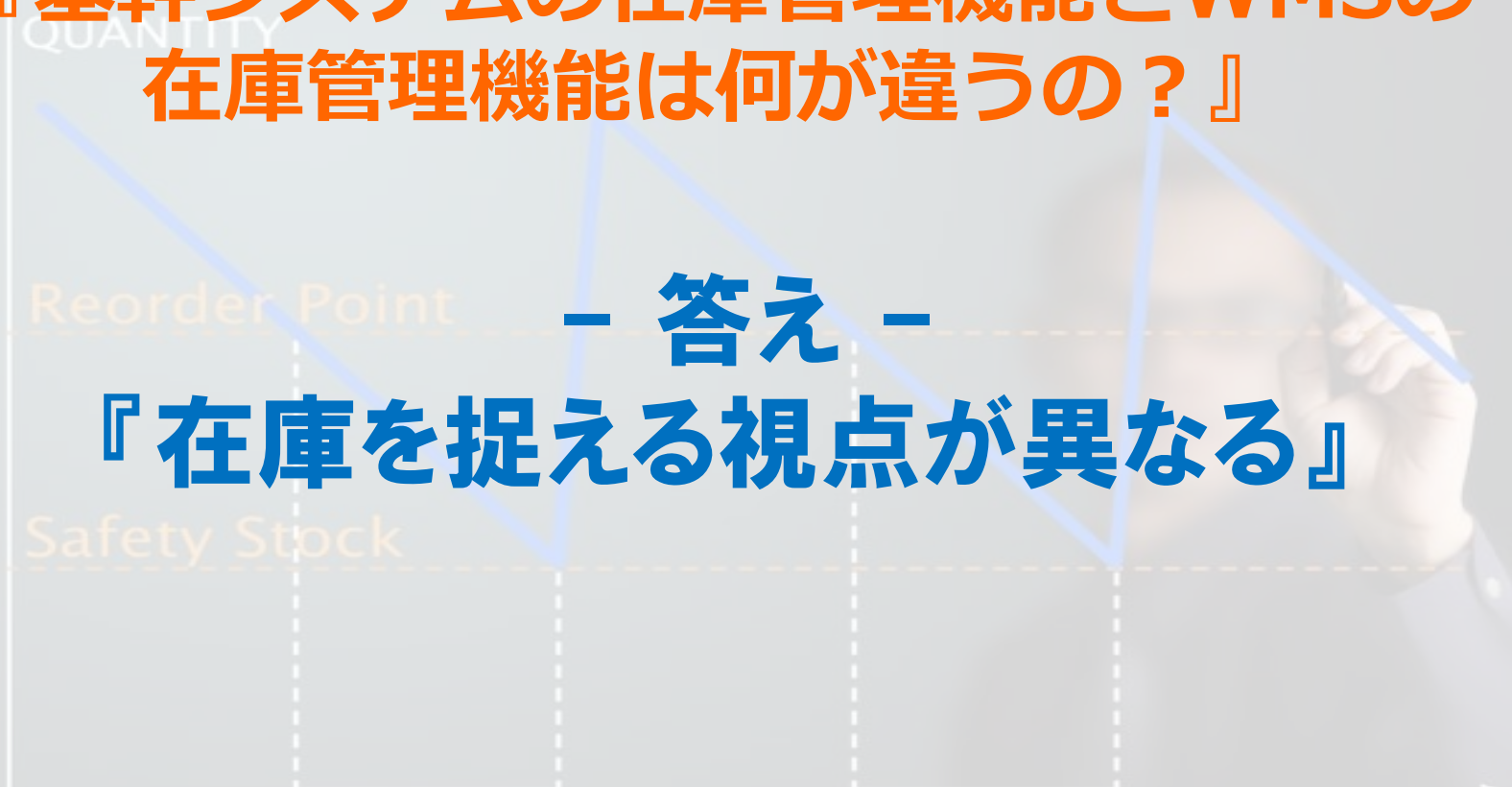
- 答え -

『**在庫を捉える視点が異なる**』

Safety Stock

Lead Time

TIME



基幹システムやERPは主に商流管理を行うことを目的とするシステムです。WMS（倉庫管理システム）はSCE(SupplyChainExecution)と呼ばれる実行系のシステムです。よって本来の役割が大きくことなるため、在庫を捉える設計から実装されている機能に至るまで様々な相違点があります。

基幹システム

お金の視点から在庫を捉える

WMS

モノの視点から在庫を捉える

■ 基幹システムとWMSの在庫管理機能の違い

項目	基幹システム	WMS
設計思想	商流	物流
在庫増タイミング	仕入伝票	入荷
在庫減タイミング	売上伝票	出荷
移動	機能無し ※特別処理	機能有り
棚卸	物流を止めた一括処理	物流を止めない流動処理
ロット・期限管理	機能無し	機能有り
ロケ管理	機能無し	機能有り

二つ目
の質問

『**基幹システムにWMSの機能を追加する方が全体最適を図れるのでは？**』

Reorder Point

- 答え -

『**財務系の仕組みと実行系の仕組みは依存度を低くすること**』

Lead Time

TIME

基幹システム(商流)とWMS(物流)は効率化の考え方が大きく異なります。
現場の作業性を重視する必要があるWMSの要件を基幹システムでカバーしようとする、コスト面やレスポンス面で大きな弊害が発生します。

■ 販売管理とWMSを分けるメリット・デメリット

項目	統合システム	別システム
マスタ連携	○	△
シームレスな実績データ連携	○	△
システム可用性	×	○
カスタマイズ性(変動性)	×	○
コスト	×	○
ベンダー業務知識	△	○

マスタ連携、実績データ連携は物流にとって、決して致命的なデメリットではない。

可用性、変動性、コストは変化の激しい物流にとって、致命的なボトルネックとなる。

- 結 論 -

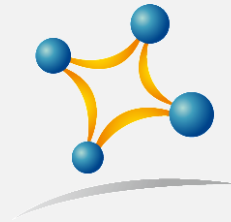
↑ STOCK
QUANTITY

販売管理(基幹システム)と物流(WMS)の**お互いの依存度を低める**ことにより、**低コストでスピーディな物流システムを構築でき、それが全体最適に繋がる。**

変化の激しい物流に柔軟に対応できることが、WMSの一番重要な要素。

← Lead Time →
TIME

物流の世界を情報サービスでスマートに



ONZALIN X